



日本で目の緊急手術を受けるため、コンボから両親とともに来日したネジール・シニックちゃん。7日午後4時、成田空港

コンボから難病坊や来日

目の中にがんができる難病「網膜芽細胞腫」に苦しむユーゴスラビア・コンボ自治州在住のアルバニア系男児、ネジール・シニックちゃん(3)が七日、NGO(非政府組織)などの尽力で両親とともに来日し、受け入れ先の金沢大学医学部付属病院に入院した。

ネジールちゃんは今年一月、網膜芽細胞腫にかかっていることが判明。三月にベオグラード市の病院で右目の摘出手術を受けたが、間もなく北大西洋条約機構(NATO)軍によるユーゴ空爆が始まったため、抗癌剤の投与などの治療ができなくなった。

空爆終了後、緊急医療活

元気で祖国に戻りたい……

察。がん転移の恐れもあると判断したが、現地に受け入れる病院がなく、金沢大学医学部付属病院(金沢市)への入院が決まった。

この日、両親に手をつながれて成田空港の到着ロビーに姿を見せたネジールちゃんは、出迎えのAMDA職員からミニチュアのおもちゃをもらい、笑顔を見せた。父親のアブドウラマンさん(4)は「皆さんのおかげで日本に来ることができ、感謝している。息子が良くなったら、コンボがど

■金沢大病院で治療

動のためコンボ入りしたN GOのAMDA(アジア医師連絡協議会、本部・岡山市)の派遣医師、上田明彦さんがネジールちゃんを診た。

AMDAなどでは「ネジール君を救う会」を結成、治療費や滞在費の募金活動を始めている。募金の郵便口座番号は「012501-2140709」、あて先

は「AMDA」で通信欄に「ネジール君」と明記する。